

教育が **SHINKA** する



教えるの真価
教えるを深化
教えるが進化

令和3年度（2021年度）4月入学者用

北海道教育大学大学院 教育学研究科
高度教職実践専攻(教職大学院) 入学案内

それぞれの教育の真価

真価

01 それぞれの教育の真価を高めて行こう

社会構造の急速な変化 予測が困難な時代など

これからの学校現場における諸課題に対処するためには
高度な理論、そして実践力が必要です。

教職大学院では

現職教員と学部直進者等*が共に学ぶメリットを活かし、

教育界や学ぶ人のニーズを踏まえた新たなカリキュラム (6 コース) を

令和 3 年度からスタートします。

教職大学院であなたの学びを

SHINKA (真価・深化・進化)させてください。

※「学部直進者等」とは、「学生募集要項」で定める「現職教員」以外の者で、教員免許状を有する者または取得見込みの者で職に就いていない者をいいます。

教職大学院生それぞれの研究テーマを きめ細かくサポート

一人ひとりの教職大学院生が持つテーマに合わせて指導教員がきめ細かな指導を行い、研究を推進。定期的に関連領域（「発達」「マネジメント」「教科」）の教員や他の教職大学院生との合同カンファレンスを行い、広い視点での研究を進めていくことができます。

様々な背景を持つ 教職大学院生との交流

学部直進者等はもちろん、現職の教師や社会人まで様々な経験を持つ教職大学院生と共に学び合うことで、視野を広げることができます。現職の教師だからこそ知る教育現場で培った多様な知見は、実践に則した研究を進める上で有意義なものとなるでしょう。

DATA

修了要件

- 標準修業年限：2年間
現職教員（北海道教育委員会及び札幌市教育委員会派遣者）向けの短期履修学生制度（1年）、長期履修学生制度（3年または4年）有り。
- 修了要件：2年以上在学し、履修基準に示す所定科目を46単位以上取得すること。
- 学位：所定の単位を取得した者に教職修士（専門職）の学位が授与されます。

専修免許状

- 一定の履修科目により、教育職員免許状1種に対応する以下の専修免許状の取得が可能。
幼稚園教諭専修免許状
小学校教諭専修免許状
中学校教諭専修免許状（各教科）
高等学校教諭専修免許状（各教科）
養護教諭専修免許状
特別支援学校教諭専修免許状（知・肢・病）

深化

02

「教員養成学」による実践研究アプローチで教育が深化する

「共通科目」及び「専門科目」を基盤としながら、「実習科目」を行うことで理論知を実践化。

さらに地域課題への取り組み、実習を組み込んだ実践的研究を展開。実践知の理論化、地域課題の解決に向けて研究を展開できるように配慮しています。



地域課題解決へ実践的研究

北海道教育大学の特色ある領域科目により、地域課題を顕在化。コース科目と合わせて学ぶことで知識や実習で得た経験を地域課題解決のための研究に活かすことができます。



実習で得た実践知を理論化

専門科目で得た理論知に実習で得た実践知を融合。実践で活用できる理論知へと発展させます。

	コースのねらい	共通科目（コース必修科目）4単位	コース科目（専門科目）8単位 [複数コース対応科目とあわせて8単位]
学校組織マネジメントコース 現職教員	学校管理職や地域の指導的立場として活躍する経営的資質能力の向上 国や北海道の教育改革の方向性を理解し、社会の変化、保護者・地域等の期待を踏まえて、目指す学校の姿を経営方針やグランドデザインとして示すとともに、達成するための方策や評価・改善の仕組みを具体化して、教職員や地域等との協働による学校・園の経営を行うことができる人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校組織マネジメントの理論 ● 管理職に求められるリーダーシップ ● 学校運営と教育法規 ● 教員の働き方と校務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校組織マネジメントの実践的展開 ● 学校経営戦略の分析と策定 ● 社会に開かれた学校 ● 教育行政マネジメントの理論と実際 ● 学校事務の職務と連携方策
教職キャリア形成・研修デザインコース 現職教員	教育実践研究に中心的に取り組むことができるミドルリーダーの資質能力の向上 校長等の経営方針の下、学校のねらいを達成するため、保護者、管理職や同僚、地域等と協働して実践するほか、必要に応じて自ら課題解決のための企画を提案し、ミドルリーダーとして職場の協働体制の充実・推進を果たすことのできる人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師としてのキャリア・デザイン ● 学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題 ● 授業研究の理論と実践 ● カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校と教員の文化 ● 教師の実践研究ネットワークの形成 ● 校内研修デザインの理論と実践Ⅰ ● 校内研修デザインの理論と実践Ⅱ ● 学級・授業づくりを通じた教師支援
子ども理解・学級経営コース 現職教員 学部直進者等	教育活動の基盤となる子どもの理解や集団・学級の運営に関する資質能力の向上 学校における子どもを理解し、その成長・発達に寄り添うとともに、保護者、同僚や地域等と協働して、子どものニーズに応じた支援を行いながら、学級を単位として展開される様々な教育活動を推進することのできる人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもと教師の関係づくり ● 子どもの問題行動の実際と実践的対応 ● 学級経営の実際と課題Ⅰ ● 学級経営の実際と課題Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもと社会 ● 学級経営と授業づくり ● 道徳を基盤とした学級経営 ● キャリア教育の実際と課題 ● 現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり ● 授業における子どもの行動と心理 ● 子ども理解のためのアセスメント ● 教育課程編成と学級経営
教科指導・授業開発コース 現職教員 学部直進者等	各教科の専門的指導と教材を開発するための実践力に関する資質能力の向上 各教科の専門性を獲得するとともに、子どもの学力・関心等の実態を把握し、保護者、同僚や地域等と協働して、子どもの学びが深められるような実践的指導力を高め、各教科の教材を開発し、授業実践に活かすことのできる人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業デザインの基礎 ● 教科等横断的な視点に立った授業開発 ● 学習評価の理論と実際 ● 総合的な学習の時間の実践と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科教育研究の理論Ⅰ(各教科) ● 教科教育研究の理論Ⅱ(各教科) ● 教科教育研究の実際と展開Ⅰ(各教科) ● 教科教育研究の実際と展開Ⅱ(各教科) ● 教科内容の体系Ⅰ(各教科) ● 教科内容の体系Ⅱ(各教科) ● 教科内容研究(各教科各分野) ● 教材内容・教材開発(各教科各分野)
特別支援教育コース 現職教員 学部直進者等	配慮を必要とする多様な子どもに対する専門的な支援に関する資質能力の向上 障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、保護者、同僚や地域等と協働して、子どもの生活や学習上の困難を改善・克服する専門家として、特別支援学校や特別支援学級の教育に貢献することのできる人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育の教育課程と授業の在り方 ● 特別支援教育における教育相談と保護者支援 ● 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅰ ● 特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育のシステムと実際 ● 障害のある子どもの理解と支援Ⅰ ● 障害のある子どもの理解と支援Ⅱ ● 障害のある子どもの理解と支援Ⅲ ● 障害のある子どもの理解と支援Ⅳ ● 障害のある子どもの理解と支援Ⅴ ● 現代社会と障害児・者 ● 発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 ● 特別支援教育の現代的課題と教育実践 ● 特別支援教育の実際と理論 ● 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ ● 特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅡ ● インクルーシブ教育実地研究Ⅰ ● インクルーシブ教育実地研究Ⅱ
養護教育コース 現職教員 学部直進者等	子どもの健康を支える保健・健康教育活動等の実践力に関する資質能力の向上 養護教諭として、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、保護者、同僚や地域等と協働して、子どもの心身の健康問題に対応する専門家として、学校教育に貢献することのできる人材を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健組織活動におけるマネジメント ● 養護活動と保健教育 ● 養護実践の理論と方法 ● 子どもの心身の健康における協働的援助 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校における保健教育の意義と課題 ● カリキュラム・マネジメントを踏まえた保健教育の実際 ● 子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育 ● 保健組織活動とエンパワメント ● 学校における医学的課題と探索的研究 ● 養護教諭の実際と研究的視点 ● 学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ● 学校医療安全と子どもの安全への実践的対応 ● 養護教諭の教育活動とキャリア形成 ● 保健室経営の位置づけ及び理論と実践 ● 生徒指導と学校カウンセリングの実際と課題

複数コース対応科目 (※コースにより開設科目が異なります)	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり ● 校種間接続カリキュラム構築の理論と実践 ● 教育相談のケース・スタディ ● 学校教育の現代的課題とその対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 校務の情報化推進の理論と実践 ● 教育調査のための統計Ⅰ ● 生徒指導のケース・スタディ ● 学校における外国語教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● いじめに関する理論と指導の実際 ● 教育調査のための統計Ⅱ ● 幼保小の連携と生活科教育 	プロジェクト科目 6単位	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育実践研究プロジェクトⅠ ● 教育実践研究プロジェクトⅡ ● 教育実践研究プロジェクトⅢ 	演習科目 2単位	<ul style="list-style-type: none"> ● 実践論文
---	--	--	--	------------------------	---	--------------------	--

北海道教育大学の特色ある領域科目(選択) 2単位				実習科目 10単位
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域性を生かした総合的な学習 ● 道徳教育の理論と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラミング教育の実際と課題 ● へき地・小規模校の実際と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育情報資源と学びの環境・指導 ● 個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ 	

共通科目(必修) 18単位			
共通必修科目 12単位	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の学力・能力観とカリキュラム・マネジメント ● 学校危機管理の実際と課題 ● 生徒指導の実際と今日的課題 ● 子どもの発達と学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● アクティブ・ラーニングの理論と実際 ● インクルーシブ教育の理念と教育課程 ● 教師のメンタルヘルスとエンパワメント ● 学級・学年経営の理論と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育相談の理論と実際 ● 特別支援教育の視点からの学習指導 ● ICTを活用した教育の実際と課題 ● 学校における組織的な人材育成と授業改善
コース必修科目 4単位	※コース毎に必須科目が設定されています。(上記のとおり)		
大学指定科目 2単位	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育実践研究へのアプローチ ● 北海道の教育課題解決へのアプローチ 		

※上記の科目 46単位を修得して修了します。



履修モデルはホームページでご確認ください。

<https://www.hokkyodai.ac.jp/kyoshokudaigakuin/newcurriculum.html>

「教員養成学」による実践研究アプローチ

演習科目

▲ 実践論文・成果公開

プロジェクト科目

▲ 理論と実践の統合

専門科目

▲ 実習科目

理論知の実践化

▲ 特色ある領域科目

地域課題の顕在化

▲ 共通科目

教育に関する基礎的理解

「教職大学院に進学して学んでみたい」という一人ひとりの思いを応援するため、様々なサポート体制を整えています。学部直進者等には教員採用試験対策や教員採用猶予制度、現職教員には短期履修学生制度や長期履修学生制度、将来の可能性を広げる教員免許取得特別プログラムなど、それぞれの教育の進化を支えます。

平日夜間 土曜日開講

多くの講義は平日の 18:00 ~ 21:10、土曜日は日中に開講されるため、勤務しながら通うことが可能です。鑑さんも日々の業務を終えてから学んでいます。

短期履修 学生制度

北海道教育委員会及び札幌市教育委員会大学院研修派遣制度により派遣される現職教員は、短期履修学生制度を申請することが可能で、認められれば修学に専念でき、1年間で修了することが可能です。

大学院修学休業制度

身分は保障された上で、休業(休職)して修学に専念できる大学院修学休業制度の活用も可能です。(詳細は各教育委員会にお問い合わせください)



長期履修学生制度

2年間分の学費で4年間を上限として学ぶことができる長期履修学生制度を選択できます。

家族・職場

「家族の理解がなくては学び続けることはできなかったと思います」という鑑さん。家族だけでなく職場の同僚・上司の理解も学び続けるためには重要となります。その重要性をわかっているからこそ、鑑さんは「これから教職大学院で学びたいと考える人がいたらサポートしていきたいと思います」と考えています。

スケジュール管理

「仕事と教職大学院での学びは効率的なスケジュール管理をすることで両立できます」と鑑さん。「教職大学院の教授が仕事をしながら学ぶことを理解してくれていることも大きいです」

鑑 孝裕さん

平成 31 年度入学
北海道教育大学附属札幌小学校

現職教員

経験があるからこそ、理論と実践のつながりを現場で活かせます。

自分の狭い視野が広がる

教員生活の中で授業や学級経営の研究を進めてきましたが、このままでは自分の視野が狭くなるのではという不安や、教育課程全体を通した学びの在り方、学校で学ぶことの意味を問い直したいと考え、進学を決めました。仕事と学業の両立には不安もありましたが、働きながらだからこそ理論と実践を往還し、研究と仕事をつなげて深められると考えています。全道の先生方と交流できたこと、担当の先生に論文の指導をいただいたことも大きな収穫です。経験を重ねるにつれ、経験を通して得た枠組みが正解だと思いついてしまう危険性もあります。教職大学院での学びを機に自分の教育観や子ども観を批判的に見つめ直し、子どもたちとの接し方も変わってきていると思います。

学部直進者等向けの教員採用試験対策は少人数制のきめ細かい指導で、修了までに教員採用試験に合格する割合はおよそ9割以上。「面接対策がとてもためになった」と竹次さん。

9割 合格率 採用試験 教員

教員免許状取得 特別プログラム

3年間で教職大学院の単位修得の他、学部の教職課程を履修することで小学校または中学校 1 種免許状を取得することが可能です。

教員採用猶予制度

北海道教育委員会及び札幌市教育委員会ではすでに教員採用試験に合格している場合には、大学院を修了するまで教育委員会に採用を猶予される制度がありますので安心して学べます。

竹次 奈央さん

令和 2 年 3 月修了
札幌市内小学校勤務

学部直進者等

高度な専門性と実践力を身につけ、現場に出ることができます。

※マイオリジナルブック…教職大学院では修士論文は課しませんが、それに代わるものとして「マイオリジナルブック」の作成を課しています。「マイオリジナルブック」は実践に深く根ざした教職大学院での学びについての、いわば「自分の研究物語」です。令和 3 年度からは「実践論文」にかかわります。

根拠を示す

教職大学院の指導で竹次さんが印象に残ったアドバイスは、「意見を述べる際は根拠を示す」。論文も指導案も、根拠を示すことで説得力が増すことを学びました。

不安

自分に足りないところがあるまま教壇に立つのが不安だったという竹次さん。一方、就職する同期に遅れを取るのではという不安も。しかし教職大学院でしか経験できない学びを得ることで、どちらも払拭されました。

実習校選択

それぞれの関心に合わせて、教育実践研究実習を行います。学部の実習では授業作りや指導案作成など基本的なことを学びますが、教職大学院では研究テーマに沿って授業を行い、課題を追究します。

様々な人からの学びがある

大学も北教大で学びましたが、もっと自分に足りないものを身につけてから教壇に立ちたいと思い、進学することにしました。日常的に他の院生と交流する機会があり、同じく北教大から進学した同期のほか、現職教員の院生の方から話を聞いたことは大きな力になりました。また、自分の担当の先生だけでなく、他の先生からもアドバイスをいただきながら取り組んだ教育実習やマイオリジナルブック※は、掛け替えのない学びになりました。教職大学院での2年間を通して、目の前の子どもたちのために何ができるか、周りの先生がどのような考えのもと指導や言葉がけをしているかなどが見える視野を獲得できたと思います。教職大学院でしかできない学びを、これからの教員人生に活かしていきたいです。

学ぶ環境は道内5か所＋オンライン

広大な北海道各地での学びをサポートするために、札幌、旭川、釧路、函館の4か所のキャンパスと札幌駅前サテライトを結び学びの環境を整えています。



各キャンパスの
アクセスはこちら

キャンパス



札幌校

〒002-8502
北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号
TEL.011-778-0206



旭川校

〒070-8621
北海道旭川市北門町9丁目
TEL.0166-59-1204



釧路校

〒085-8580
北海道釧路市城山1丁目15番55号
TEL.0154-44-3205



函館校

〒040-8567
北海道函館市八幡町1番2号
TEL.0138-44-4411

札幌駅前サテライト <https://www.hokkyodai.ac.jp/satellite/>



〒060-0005
北海道札幌市中央区北5条西5丁目7
sapporo 55 4階
TEL.011-211-4100



双方向遠隔授業システム

各キャンパス間と札幌駅前サテライトを常時結び、音声及び画像を双方向で送受信します。ICTを駆使した参加体験型授業や問題解決学習を推進しています。

非常時におけるオンライン講義（Zoom）にも対応しています。※2020年度運用実績あり

国立大学法人 北海道教育大学

〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

<https://www.hokkyodai.ac.jp>



入試に関するお問い合わせ

【入試課】TEL:011-778-0652

授業に関するお問い合わせ

【教育企画課修学支援グループ】TEL:011-778-0328

令和3年度入学者選抜試験日程

【前期募集】

※消印有効

出願期間 令和2年10月19日(月)～10月23日(金)

学力検査日 令和2年11月22日(日)

【後期募集】

※消印有効

出願期間 令和3年1月4日(月)～1月8日(金)

学力検査日 令和3年2月7日(日)

諸費用

入学金 282,000円(予定)

※現職教員全員を対象とした入学料の半額免除を実施します。

本制度の対象となる「現職教員」は選抜区分の「現職教員」と異なります。詳細は、合格者宛てに別途通知します。

授業料 535,800円(年額、予定)

※減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は合格者宛てに別途通知します。

入試説明会日程

11月1日(日) 釧路キャンパス

11月3日(火) 札幌キャンパス 要申込

11月21日(土) 函館キャンパス 要申込 (申込期限11/13)

11月28日(土) 旭川キャンパス 要申込 (申込期限11/20)

入試の個別相談を随時受け付けています(対面、オンライン、電話)。お申し込みはメールでお願いします。

kyosyokudaigakuin@s.hokkyodai.ac.jp



入試についての詳細・最新情報は教職大学院ホームページでご確認ください。

<https://www.hokkyodai.ac.jp/kyoshokudaigakuin/>

